

2024年12月期 通期 決算説明会 質疑応答の要約

2025年2月5日(火)に開催した2024年12月期 通期 決算説明会において、出席者の皆さまからいただいた質問をまとめたものです。弊社代表取締役社長 佐藤、常務取締役CFO 五十島より回答させていただきました。

なお、回答内容につきましては、文書化するにあたり、IR担当より補足加筆させていただいております。

Q1. 2024年第4四半期のセグメント以外の部分で、その他の項目のコストが増えていると思いますが要因はありますでしょうか。また、2025年の業績予想についても2億円ほどその他が増えていると思いますがこちらについても教えていただきたいです

A1. その他には、「GMO即レスAI」や「AliveStudio」などの今期開始した新規事業や本社費等が含まれています。2024年第4四半期については、この2つの新規事業の開発費や広告投資が増加しました。また、2025年12月期に関しても「GMO即レスAI」や「AliveStudio」などのユーザー獲得を目指すことからコストが増加しています。また、事業開発部で行っている新サービスの開発投資も含まれております。(佐藤)

Q2. 中期方針に関して2025年の業績予想では増益幅がそこまで大きくないですが、2026年以降の利益貢献はどのセグメントの比重が高いでしょうか

A2. 2025年は新規事業の投資もあるので、利益貢献は大きくない見込みですが、2026年以降は新規事業が成長し貢献してくると考えています。また、売上規模で考えてもストック型ビジネスを伸ばすことに注力するため、高単価プランの契約が増えていけば収益も積み上がると考えています。セグメントの今後の貢献という意味では、ドメイン・レンタルサーバー(ホスティング)事業と、EC支援事業の比重が高いと考えています。(佐藤)

Q3. 配当性向を65%以上に変えた理由を教えてください。

A3. 現状の事業規模で考えますと内部留保も重要であると考えていますが、株主の皆様に対する公平な利益還元という観点から、配当性向引き上げによる株主還元の強化が適切と考え配当方針の変更を決定しました。(佐藤)

以上